

独自スクリーン技術で 石油や水資源の未来を支える

海外
発注可
納期
相談
企画力
自信有
コスト
相談
オンリー
ワン技術
試作可
小ロット
量産
対応



(左) 水処理装置「ケミレス」／(右) スクリーン製造工場

業務内容 水の安定供給や 環境保全で社会に貢献

昭和9年に金網メーカーとして創業。石油精製や石油化学、肥料プラントで、反応・抽出・分離といった主要プロセスを担う内部装置「スクリーン・インターナル」を製造・販売する。固体と液体を効率良く分離できるスクリーンを、井戸や集水埋渠などの取水口や水処理装置に応用して事業領域を拡大してきた。

このほか地下水に含まれる汚染物質の除去装置や、海水淡水化プラント用取水装置などの製品も取りそろえ、ビジネスを通じて、水不足や環境保全といった社会課題の解決に世界各地で貢献している。

強み 開口率が高く、 目詰まりしにくい構造

石油化学製品のプラント向けスクリーンは、高い精密性のほか高温・高圧で、腐食のリスクがある過酷な環境下でも長期間使用できる耐久性が求められる。この工業分野で認められたノウハウや加工技術をベースに、水分野のスクリーンも手がける。

スクリーンは、断面の形状が三角形のワイヤーを等間隔に並べて固定し、ワイヤーの間を水が通る構造で金網や多孔板に比べて開口率が高く、目詰まりがしにくい。また、周囲の砂層を極力動かさずに水を集めることができ、結果として井戸の寿命も延びる利点もある。

納入実績 技術力が国内外で評価、 高シェア誇る

「スクリーン・インターナル」は、プラント建設の基本設計や特許などの使用権を持つ企業が認めたメーカーのみに製造が許さ

れている。「ナガオカ」は、世界でも数社しかない認証サプライヤーの1社で、梅津泰久社長は「用途や製品によつては50%以上の世界シェアを持つ」と強調する。

また、取水スクリーンは（公社）日本水道協会発行の専門文献などに標準品として掲載され、国内1,000カ所以上の井戸や集水埋渠での採用実績があるほか、IWA（国際水協会）の技術コンテストで優秀賞を受賞するなど、世界的にも高い評価を受ける。

今後の展望 水処理装置「ケミレス」を 核に成長を目指す

今後、次の成長エンジンとして水処理分野に力を入れ、中でも薬品を一切使わず、水中の酸素や微生物を活用して水を浄化する装置「ケミレス」の販路拡大を目指す。東南アジアでの受注増を目指すほか、国内では東京オリピック開催に合わせた宿泊施設の増加による、リネン業界の水処理設備の新設・改修需要を取り込んでいく計画だ。

トンネル建設時の排水処理施設に「ケミレス」が採用されるなど用途が広がっており、梅津社長は「浄水だけではなく、工事現場や下水処理など広くビジネスチャンスを探っていく」と力を込める。



浅井戸用取水スクリーン



ベトナムで納入した水処理装置「ケミレス」

当社の歴史



創業以来、スクリーンをコア技術に、石油精製や取水、浄水関連の装置や技術を提供し、社会に貢献してきました。今後も、水とエネルギー分野に特化し、企業規模は小さくても筋肉質で、世界で認められる技術や、競合他社を寄せ付けない優位性を持った企業であり続けたいと思います。

代表取締役社長 梅津 泰久さん

<http://www.nagaokajapan.co.jp/>

全国
28
ISO 9001

主な事業内容

取水用スクリーン、水処理装置、石油プラント用内部装置の製造

主な取引先(納入先)

水道事業体、さく井業者、鉄鋼商社、石油プラントオーナー、エンジニアリング会社、圧力容器メーカー

●住所

〒595-0055
泉大津市
なぎさ町6-1

●TEL

0725-21-5750

●FAX

0725-21-2266

●創業

昭和9年10月

●設立

平成16年11月

●資本金

1,253,241千円

●従業員

118名